



公益財団法人

# 杉浦記念財団

## 2023年度活動報告書

住み慣れた地域で  
自分らしく暮らし続けるために



## 御礼とご挨拶

私たち公益財団法人杉浦記念財団は、2011年に「一般財団法人 杉浦地域医療振興財団」として発足し、今年(2024年)で設立14年目を迎えることができました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

設立以来、主事業となっている杉浦地域医療振興賞(杉浦賞)と杉浦地域医療振興助成(杉浦助成)も23年度で第12回を数えました。今回も全国各地から多数の応募をいただき、7月にはコロナ禍が明けて初の授与式を、大勢の皆様のご参集を得て開催させていただくことができました。

各種研究会や健康増進セミナー等にも引き続き積極的に取り組んでおり、健康増進セミナーについては、23年度は同時開催箇所が9カ所となり、参加者数も各回とも1,000名を大きく上回る規模にまで拡大することができました。

まだまだ至らぬところもございますが、引き続き皆様のご指導ご鞭撻をいただきながら、地域社会に貢献して参りたいと考えております。



評議員会長 杉浦 広一  
理事長 杉浦 昭子

## 設立経緯と趣意

私ども夫婦は、1976年12月、医薬品・健康食品・化粧品・日用品の販売および処方せん調剤を目的に掲げる薬局を愛知県西尾市に開設して以来、「地域のかかりつけ薬局」としてスギ薬局を育てて参りました。幸運にも、皆様の多大なるご支援をいただき、たくさんのお客様・患者様にご利用いただける企業に成長させていただきました。

スギ薬局グループが創業35周年を迎えた2011年9月1日に、それまでのご支援に報いるため、社会貢献という形で少しでもお役に立ちたいとの思いから、杉浦広一・杉浦昭子を設立人として「一般財団法人 杉浦地域医療振興財団」を設立いたしました。そして2015年7月1日には公益認定を受け、名称を「公益財団法人 杉浦記念財団」に改めました。

これを機に、地域包括ケアシステムの実現に向けて活動する個人・団体を支援する活動を継続することに加え、認知症問題や介護予防の分野でも、幅広く社会のお役に立てる活動を推進して参ることにいたしました。

今後とも、皆様のご指導ご鞭撻をいただきながら、一つひとつ実績を積み重ねて参る所存ですので、引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

### 団体概要

私たちの  
使命

『住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために』  
皆で生きる、長生きを喜ぶ、笑顔で生きる。

誕生から高齢期まで、多様な社会活動の支援ならびに健康を育む人材教育を通じ、地域貢献を目指します。地域共生社会の実現に向けて活動する、個人・団体を支援しています。

# 役員等 (五十音順・敬称略) 2024年2月1日現在

## 理事長



**杉浦 昭子**

スギホールディングス株式会社  
相談役

## 副理事長



**杉浦 伸哉**

株式会社スギ薬局  
取締役副社長兼事業本部本部長

## 理事



**秋下 雅弘**

東京大学 大学院医学系研究科  
教授(老年病学・加齢医学)

## 理事



**大島 伸一**

国立研究開発法人国立長寿  
医療研究センター 名誉総長  
日本福祉大学 常務理事

## 理事



**亀井 浩行**

名城大学薬学部  
病院薬学研究室 教授

## 理事



**高瀬 義昌**

医療法人社団至高会 理事長  
たかせクリニック 院長  
公益財団法人日米医学医療交流財団 理事

## 理事



**堀 美智子**

医薬情報研究所  
株式会社エス・アイ・シー  
取締役医薬情報部門責任者

## 理事



**山村 恵子**

藤田医科大学 医療科学部  
先進診断システム探索部門  
高度薬学情報管理学 教授

## 監事



**神谷 誠**

公認会計士税理士神谷誠事務所 所長  
スギホールディングス株式会社  
社外監査役

## 監事



**加藤 克彦**

加藤克彦  
公認会計士税理士事務所 所長

## 評議員会長



**杉浦 広一**

スギホールディングス株式会社  
顧問

## 評議員



**荒井 秀典**

国立研究開発法人  
国立長寿医療研究センター  
理事長

## 評議員



**倉田 なおみ**

昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座  
社会薬学部 臨床薬学講座  
臨床栄養代謝学部 客員教授

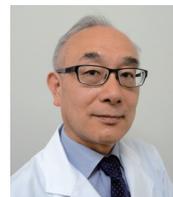
## 評議員



**杉浦 克典**

スギホールディングス株式会社  
代表取締役社長

## 評議員



**鈴木 匡**

名古屋市立大学  
大学院薬学研究科 教授

## 評議員



**高橋 紘士**

東京通信大学名誉教授  
高齢者住宅協会顧問  
全国居住支援法人協議会顧問  
全国日常生活支援住居施設協会顧問  
全国ホームホスピス協会理事

## 評議員



**田中 滋**

埼玉県立大学 理事長  
慶応義塾大学 名誉教授

## 評議員



**辻 哲夫**

東京大学高齢社会総合研究機構・  
未来ビジョン研究センター  
客員研究員

## 評議員



**伴 信太郎**

中津川市地域総合医療センター  
センター長  
愛知医科大学 医学教育センター  
特命教育教授

**名称** 公益財団法人 杉浦記念財団  
(英語名: The Sugiura Memorial Foundation)

**所在地** 〒474-0011  
愛知県大府市横根町新江62番地の1

**ホームページ** <https://sugi-zaidan.jp>

**設立** 2011年9月1日(2015年7月1日公益認定)

**事業**

- (1) 地域医療・福祉の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞
- (2) 地域医療・福祉の振興に係る社会実験への助成、参画
- (3) 医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- (4) 医学・薬学・看護学・福祉学・社会保障等に関する研究・調査事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- (5) 医薬品の研究・開発に対する助成、褒賞
- (6) その他当財団の目的を達成するために必要な事業

## 第12回 杉浦賞 (杉浦地域医療振興賞)

### 地域に密着した取り組み3者が受賞

地域医療・福祉の振興、国民の健康と生活の向上、その人らしく住み続けることへの支援などの活動を褒賞する杉浦賞。今年度は下記の3件を褒賞しました。



杉浦昭子 理事長



大島伸一 審査委員長

### 杉浦賞受賞者

#### 静岡県中東遠地区の 6市町5病院の連携による家庭医の養成 静岡家庭医養成協議会



地域の慢性的な医師不足の解消に向け、静岡県中東遠の6市町が連携し、総合診療医(家庭医)の養成に向けて組織を立ち上げた。米国ミシガン大学とも連携し「子宮から天国まで」をテーマに取り組んでいる。地域の医療機関や介護施設、行政などとも協働し、予防事業にも着手している。



#### 「食べることは生きること」 食を通して高齢者が高齢者を支えあう 生きがいづくり

NPOひまわり会 代表 大石 鈴子 氏



日本の伝統を重視した食を通じた地域のつながりを理念に、20年にわたり兵庫県都市郊外ニュータウンで活動を続ける。高齢者にとどまらず子どもや大学生をも対象とする。高齢化が進み様々な課題を抱える全国のニュータウンの先駆的存在となっている。

## ◎杉浦賞 審査委員

[審査委員長]

**大島 伸一 氏** 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長  
日本福祉大学 常務理事

[委員]

**秋山 弘子 氏** 東京大学 名誉教授  
東京大学高齢社会総合研究機構 客員教授

**柴田 博 氏** 桜美林大学 名誉教授  
一般社団法人日本応用老年学会 会長

**辻 哲夫 氏** 東京大学高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター 客員研究員



## 地域の救急システムの整備

川越救急クリニック 院長 上原 淳 氏



救急クリニックを都市部に！



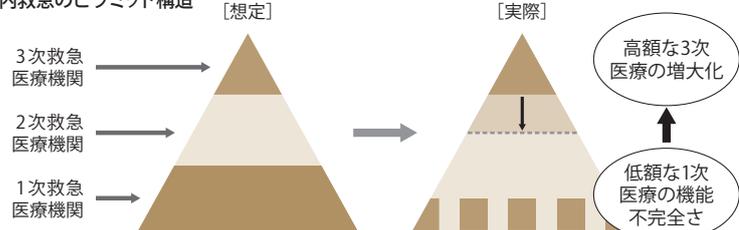
日本救急クリニック協会 (<http://jeca.co.jp>)

**医療体制維持苦肉の策**  
高齢化が進む地域では、救急医療の確保が課題となっている。救急医療は、地域住民の生命を守る重要な役割を果たしている。しかし、医師の不足や施設の老朽化などにより、救急医療の質が低下している。このような状況では、救急医療の体制を維持するための苦肉の策が必要となる。例えば、救急医療の機能を地域に分散させることや、救急医療の効率化を図るなどの対策が考えられる。また、救急医療の質を向上させるためには、医師の育成や研修の充実が不可欠である。地域住民の健康を守るためには、救急医療の体制を維持し、向上させることが重要である。



現在、救急患者の多くは軽症、中等症であり、彼らが救命救急センターに行くと、本来の役割である重症患者への対応が困難となる。軽症患者を中心に診療する救急クリニックが地域にあればその問題を適正化でき、地域の救急も活性化される。

国内救急のピラミッド構造



## 第12回杉浦賞授与式の様子



毎年、報告集として  
発行しています



※各QRコードから動画等もご覧いただけます。(受賞者の所属・役職は受賞当時)

# 第12回 杉浦助成（杉浦地域医療振興助成）

## 新たな着眼と技術の15件が対象に

医師、薬剤師、看護師等の医療従事者、および介護福祉従事者等の多職種が連携して地域医療の新しいモデルに取り組む。今年度は下記15件が対象となりました。



杉浦伸哉 副理事長



荒井秀典 選考委員長

## 杉浦助成対象者

### 研究分野

疼痛をもつ在宅進行がん患者の家族及び訪問看護師を対象としたランダム化クロスオーバー比較試験による遠隔看護介入効果に関する探索的研究

**吉田 詩織 氏**

東北大学 大学院医学系研究科 がん看護学分野 助教

救急搬送患者における医療情報の実態に関する調査研究

**真田 泰明 氏**

大阪大学 医学部附属病院 薬剤部

『胎動』と『妊婦のこころの変化・産科合併症』との関連についての検討：母親に寄り添った保健指導をめざして

**金澤 由紀子 氏**

名古屋市立大学 医学部附属西部医療センター 産科病棟 助産師

大腿骨近位部骨折患者の二次性骨折を予防する医療システムの構築

**黒柳 元 氏**

名古屋市立大学 大学院医学研究科 リハビリテーション医学分野 講師

嚥下内視鏡検査での服薬評価に基づいた『嚥下機能を考慮した服薬指導』の実践

**上田 章人 氏**

医療法人藤仁会 藤立病院 病院長

新しいストレッチングプログラムによる糖代謝と動脈硬化改善の検証

**村上 英樹 氏**

名古屋市立大学 大学院医学研究科 整形外科学 主任教授

フレイル指標の主観的疲労感を客観的数値で評価する研究

**狩谷 明美 氏**

社会福祉法人旭川荘 旭川荘総合研究所 特別研究部門

次世代型遠隔通信機器を用いた地域周産期支援システムの実証試験

～産科診療所における新生児管理の質向上を目指して～

**海野 光昭 氏**

社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 新生児科



## ◎杉浦助成 選考委員

[選考委員長]

荒井 秀典 氏 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長

[委員]

大原 弘隆 氏 名古屋市立大学 医学部附属西部医療センター 病院長

齋藤 訓子 氏 公益社団法人日本看護協会 副会長

高瀬 義昌 氏 医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長  
公益財団法人日米医学医療交流財団 理事

平井 みどり 氏 神戸大学 名誉教授  
京都大学 大学院医学研究科 特任教授



堀 美智子 氏 医療情報研究所株式会社  
会社エス・アイ・シー  
取締役 医療情報部門責任者

岡田 啓 氏 元 愛知医科大学 教授 兼 薬剤部長  
株式会社スギ薬局 DI室

藤田 あゆみ 氏 株式会社スギ薬局 人材開発部 教育課

松本 晴年 氏 前 名古屋市立大学 薬剤部 調剤主査

## 活動分野

家族介護者(ケアラー)を地域で支えるプロジェクト  
～多職種連携で介護の社会化を目指し、みなに優しい高齢社会  
をつくる～

松田 美南子 氏

特定非営利活動法人こもれび相談室 代表理事

農福連携の新展開：

水耕栽培を利用した切れ目のない地域移行

川室 優 氏

川室記念病院 理事長

整形外科医による地域の骨転移診療の適正化にむけた取り組み

生田 国大 氏

名古屋大学 医学部附属病院 整形外科 病院講師

慢性疼痛のあるロコモ中高年女性へのマインドフルネスと  
体操教室の実践

山本 卓資 氏

近畿大学 大学院薬学研究科 薬剤師

多施設・多職種が参加する

遺伝性消化管腫瘍診療ネットワークの構築

山田 敦 氏

京都大学 医学部附属病院 腫瘍内科 特定准教授

多職種連携による骨粗鬆症予防に向けた  
セルフイメージ強化プログラムの構築

福録 恵子 氏

三重大学 大学院医学系研究科 看護学専攻 教授

訪問看護ステーションが運営する

【まちの保健室】

横山 郁子 氏

株式会社パーソナル・ナース 代表取締役



第12回杉浦助成授与式の様子

第12回 杉浦地域医療振興賞・杉浦地域医療振興助成 授与式



※各QRコードから動画等もご覧いただけます。(受賞者の所属・役職は受賞当時)

# 研究会

## 1 都市型の看護介護医療等連携研究会



研究会  
の  
趣旨

都市に住む高齢者が、これまでの住み慣れた地域で暮らし続けることを前提として、それを支援するための多職種協働のあるべき姿について議論を重ね、地域の急激な高齢化に対応する、安心して生活できる普遍的な都市(東名阪)モデルの処方せんの作成を目指します。

第5期

### 子どもと地域包括ケアシステム

～子どもと高齢者のふれあい支援、医療的ケア児支援、障害児ケアと障害者ケア～

[座長] 埼玉県立大学 理事長 / 慶応義塾大学 名誉教授 [期間] 2023年1月～現在

田中 滋 氏

◎2023年度

回数	開催日	テーマ / 講師
第1回	1月26日(木)	「障害者の自立支援から考える地域包括ケアシステム」 朝日 雅也 氏 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 / 大学院研究科 教授
第2回	3月16日(木)	「誰もが参加しやすいまちづくりと健康長寿」 斎藤 民 氏 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター / 老年学・社会科学研究所 老年社会科学研究部 部長
第3回	5月11日(木)	「ヤングケアラーと地域包括ケアの役割」 宮本 恭子 氏 一般社団法人ヤングケアラーサロンネットワーク 代表理事 / 島根大学法文学部法経学科 教授
第4回	7月 6日(木)	「次世代型の医療的ケア児支援システム構築に向けて～聖マリア病院における取り組み～」 海野 光昭 氏 社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 新生児科
第5回	9月14日(木)	「生命を脅かされる病気と闘う子どもと家族の「存分に生きる」を支える～コミュニティ型子どもホスピスの可能性～」 畑中 めぐみ 氏 NPO法人愛知子どもホスピスプロジェクト 代表理事
第6回	11月 9日(木)	「障害児支援のこれから～共に育つ地域づくり～」 栗原 正明 氏 子ども家庭庁 支援局障害児支援課 課長

## 2 地域包括ケアにおける医薬品適正使用協働研究会



研究会  
の  
趣旨

地域包括ケアの中で、医薬品適正使用の観点からチーム医療における協働を進めます。特に高齢者の多剤服用の適正化に焦点を当て、実施体制の確立を目指します。

[座長] 東京大学 大学院医学系研究科 教授 (生殖・発達・加齢医学専攻)

秋下 雅弘 氏

◎2023年度

回数	開催日	テーマ / 講師
第47回	2月 8日(水)	「国立がん研究センター中央病院におけるポリファーマシーへの取り組み」 渡部 大介 氏 国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 薬剤部 副薬剤部長
第48回	4月12日(水)	「保険薬局でできるポリファーマシー対策～広島市域全体での取り組みから1薬局の取り組みまで～」 栗原 正亮 氏 有限会社みわ薬局 代表取締役副社長 / 一般社団法人広島市薬剤師会 理事
第49回	6月21日(水)	「市中病院の薬剤師によるポリファーマシー対策と地域連携対策の実践手法」 篠永 浩 氏 三豊総合病院 副薬剤部長
第50回	10月11日(水)	「薬は芸術品—食事状況から導く、薬の飲み方ガイド—」 倉田 なおみ 氏 昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部 客員教授 / 臨床薬学講座 臨床栄養代謝学部 客員教授
第51回	12月13日(水)	「在宅療養高齢者や介護施設入所者におけるポリファーマシーの実態と課題」 浜田 将太 氏 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究部 副部長

# 3 愛知県地域再生・まちづくり研究会



研究会  
の  
趣旨

「孤立死しない社会を目指す」「高齢社会に合った健康の概念を考え直す」「高齢者こそ、これからの社会の資源と考える」「世代間の協力、暮らしの視点、専門家との連携を重視する」の4点を基本に、自律的で持続的な社会を実現できるまちづくりを追求しています。現在は、「これから生まれてくる人の為に2060年をどうデザインするか」をテーマに、若手世代(当事者になる世代)の皆様と「プラットフォーム」の策定に向けて方策を検討しています。

[座長] 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 名誉総長  
**大島 伸一 氏**

## ●2023年度

回数	開催日	テーマ／講師
第48回	8月25日(金)	認知症になると不幸せなのか
第49回	10月27日(金)	認知症になっても幸せに暮らせるための条件
第50回	12月22日(金)	認知症で幸せに暮らすには「迷惑」をかけないことなのか?

### ■次世代担う若手メンバーも活躍

高齢化の流れがピークとなる2040年代以降、その当事者として最も深刻な影響を受けるのは今の30代、40代の層。その実態を理解し、自らの問題として課題解決策を模索することを目的に2018年6月に同研究会次世代チームが発足しました。

2019、22年度と「長生きを喜べるまちづくりシンポジウム」をリードし、昨年度からは新たに、「認知症になっても幸せに暮らせるまちづくり」をテーマに活発な議論を行っています。



※各QRコードから動画等もご覧いただけます。

# 健康増進セミナー（スギ薬局グループと協力）

## 生活者のための健康知識を多拠点で発信

地域の皆様に病気の早期発見・治療や介護予防・認知症予防の必要性をより身近に感じていただくことを目的に開催しており、23年度11月は愛知県の他、関東、関西、北陸など9カ所を同時中継ネットワークして実施。1700名近くのご参加をいただくまでに拡大しました。

◎2023年度  
[6月25日(日)]

場所	テーマ／講師	参加人数
6会場（埼玉県川口市・東京都千代田区・石川県金沢市・愛知県大府市・大阪府大阪市淀川区・大阪府大阪市城東区）	『家庭医・かかりつけ医と一緒に！ 家族まるごと健康づくり』 <b>井上 真智子 氏</b> 浜松医科大学地域家庭医療学講座特任教授 静岡家庭医養成プログラム責任者	595名
	『かかりつけ薬剤師と健康増進』 <b>杉浦 伸哉</b> スギ薬局 取締役副社長／杉浦記念財団 副理事長 スギホールディングス 取締役副社長	



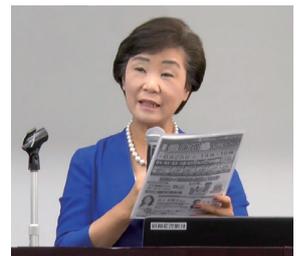
井上 真智子 氏



杉浦伸哉 副理事長



健康増進セミナー  
2023年  
6月25日(日) 14時～16時  
愛知・埼玉・東京・大阪・石川 6拠点 同時開催  
抽選で 1000名様に  
スギ薬局アプリ、ホームページから  
申込み期間 5/25(水)迄



杉浦昭子 理事長



### 主な協賛企業

アース製薬株式会社、アサヒ飲料、味の素株式会社、株式会社医食同源ドットコム、株式会社伊藤園、井藤漢方製薬株式会社、インターコスメ株式会社、UHA味覚糖、株式会社エイワ、江崎グリコ株式会社、エステー株式会社、株式会社H2O、大塚食品株式会社、大塚製薬株式会社、花王グループカスタマーマーケティング株式会社、春日井製菓株式会社、カバヤ食品株式会社、カルビー株式会社、キッコーマン食品株式会社、キューピー株式会社、キリンビール株式会社、キリンビバレッジ株式会社、グラクソ・スミスクライン株式会社、クラシエホームプロダクツ販売株式会社、コーセーコスメポート株式会社、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、小林製薬株式会社、サンスター株式会社、サントリーフーズ株式会社、株式会社ジュン・コスメティック、ジョンソン株式会社、株式会社外林、大王製紙株式会社、デンタルプロ株式会社、東洋ナッツ食品株式会社、日清食品株式会社、株式会社ネイチャーラボ、ノーベル製菓株式会社、白元アース株式会社、株式会社バスクリン、株式会社PALTAC、P&Gジャパン合同会社、フマキラー株式会社、株式会社ブルボン、マルコメ株式会社、株式会社マンダム、株式会社明治、森永製菓株式会社、森永乳業株式会社、ユニ・チャーム株式会社、ライオン株式会社、株式会社ロッテ（企業名五十音順）

[9月10日(日)]

場所	テーマ／講師	参加人数
8会場（埼玉県川口市・東京都千代田区〔神田・秋葉原〕・石川県金沢市・愛知県大府市・京都府京都市左京区・大阪府大阪市淀川区〔宮原・西宮原〕）	『腎臓の働き そして薬をたくさん飲むことについて』 <b>水野 智博 氏</b> 藤田医科大学 薬物治療情報学 准教授	1,556名
	『ドラッグストアで健康になろう』 <b>杉浦 伸哉</b> スギ薬局 取締役副社長／杉浦記念財団 副理事長 スギホールディングス 取締役副社長	



水野 智博 氏




石川会場の様子

京都会場の様子(上も)

ご参加いただいた皆様の声

- 介護や認知症など、自分には関係ないと思っていましたが、本日、医療の取り組みや認知症の話を知ることができてとても勉強になりました。(60代女性)
- 今回得た貴重な知識は自分だけにとどめずこのイベントに参加できなかった周囲の人にもおすそ分けしたいと思う。素敵なイベント本当にありがとうございました。(40代女性)
- 健康の大切さがわかった。これからの人生を楽しく過ごして行きたいと心から思いました。自分にとってプラスになりました。感謝です。(50代女性)
- 幸福はお金だけではなく、健康や社会との関わりが大きいと改めて感じさせられました。(30代女性)
- この様な機会があまりないので大変有意義な時間でした。まだ年齢的に早いかと思いましたが、これから先の人生で対策ができると思いました。(50代男性)
- 初めて参加しました。認知症を予防するためのヒントがいろいろ聞けて、大変参考になりました。次回も是非参加したいと思います。(50代男性)
- そろそろ体調変化を感じる年頃。現在は日常的に筋トレを行っていますが、多角的に健康増進に努めねばならないと痛感しました。実に有意義な時間でした。(40代男性)

※各QRコードから動画等もご覧いただけます。

[11月19日(日)]

場所	テーマ／講師	参加人数
9会場（埼玉県川口市・東京都千代田区・東京都港区・石川県金沢市・愛知県大府市・愛知県安城市・京都府京都市左京区・大阪府大阪市淀川区・大阪府大阪市北区）	『地域で命を支える～健康づくり・在宅ケア・認知症にならない生き方～』 <b>鎌田 實氏</b> 諏訪中央病院名誉院長／地域包括ケア研究所所長 「がんばらない介護生活を考える会」代表	1,690名
	『ドラッグストアで健康になろう』 <b>杉浦 伸哉</b> スギ薬局 取締役副社長／杉浦記念財団 副理事長 スギホールディングス 取締役副社長	



鎌田 實氏



**健康増進セミナー**  
2023年 11月19日(日) 14時～16時  
愛知・埼玉・東京・大阪・京都・石川 6拠点 同時開催

抽選で1000名様ご招待  
スギ薬局アプリ、ホームページから  
参加費無料 10/5(金)迄

講師：鎌田 實先生、杉浦 伸哉先生

『地域で命を支える』～健康づくり、在宅ケア実践から学ぶ～  
『ドラッグストアで健康になろう』

申込期間 10/5(金)～10/19(金) 10:00～19:00



## インターネット研修

### 登録受講者数1万人以上、講座数はのべ300に



講座・セミナー事業（専門家対象）では、定款に定められた人材育成事業として、「地域包括ケアを担う薬剤師の為にインターネット研修」を実施しました。同研修では、医師、看護師、その他スタッフとの密接な連携のもとに地域医療における療養環境の充実に貢献できる薬剤師の育成を目指す講座を開講しており、受講することで研修認定薬剤師制度における集合研修の単位が取得できます。

高齢者介護施策の現状と課題 ②

3. 介護保険制度見直し主な内容  
(1) 介護予防の推進  
○ 高齢者ができる限り、介護を必要としない、あるいは必要にならないようにすることを目的とし、「新予防給付」や「介護予防事業」の導入など、予防重視型システムへの転換を図っている。  
○ 併せて、「住み続ける」に比喩的意味を帯びた「健康な暮らし」を本邦に、導入者の体力や状態に合わせた介護予防制度や個別指導などの各地域で行われている。

(2) 地域ケア体制の整備  
○ 認知症高齢者や一人暮らし高齢者が出る割合が高くなった地域での自治会組織による「地域密着型サービス」の創設や、「地域包括支援センター」の設置等による「地域ケア体制」の整備が進んでいる。

介護予防システムの確立  
「介護予防システム」の導入  
「新予防給付」の導入  
「新予防給付」の導入  
「新予防給付」の導入

申請書 要支援 要介護  
地域包括支援センター(小規模多機能型居宅介護)



※QRコードから動画等もご覧いただけます。

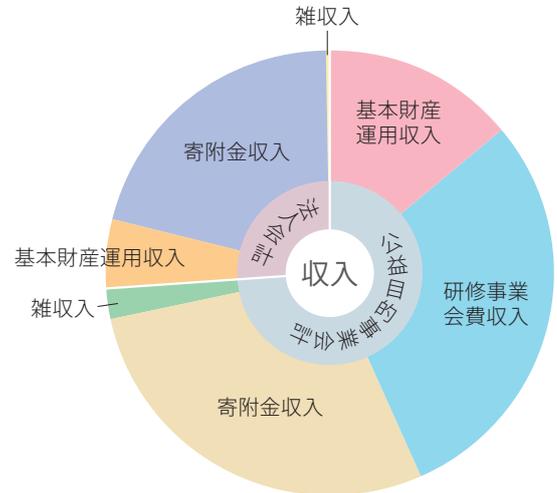
# 財務会計報告 (2023年度)

多くのご支援をありがとうございます。当財団は、皆様からのご支援・ご協力をいただきながら活動を続けています。2023年度(1～12月)の収支は以下の通りです。

## 収入

(単位：円)

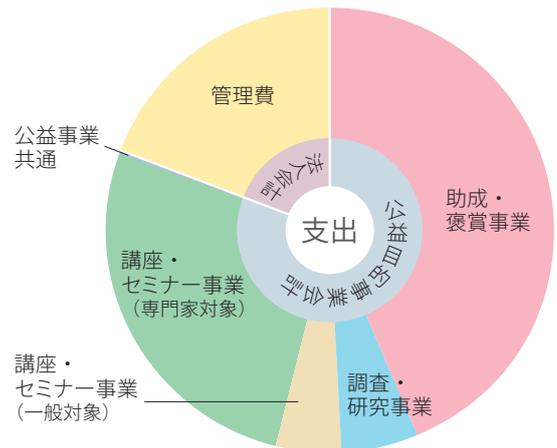
公益目的 事業会計	基本財産運用収入	11,172,338
	研修事業会費収入	23,431,705
	寄附金収入	22,346,202
	雑収入	1,841,925
	小計	58,792,170
法人会計	基本財産運用収入	4,000,000
	寄附金収入	16,622,798
	雑収入	47,696
	小計	20,670,494
合計		79,462,664



## 支出

(単位：円)

公益目的 事業会計	事業費	助成・褒賞事業	28,664,795
		調査・研究事業	3,647,242
		講座・セミナー事業(一般対象)	2,987,405
		講座・セミナー事業(専門家対象)	17,629,005
		公益事業共通	61,023
	小計	52,989,470	
法人会計	管理費	12,474,983	
合計		65,464,453	



## ●多数の企業にご支援をいただきました。

アース製薬株式会社、アイオニック株式会社、有限会社アイケイワイ、株式会社アイスコ、愛知県経農農業協同組合連合会、アイリスオーヤマ株式会社、株式会社アグリル、株式会社浅田飴、アサヒ飲料株式会社、株式会社朝日オリコミ名古屋、旭食品株式会社、朝日電器株式会社、朝日メンテナンス工業株式会社、味の素株式会社、味の素AGF株式会社、アスト株式会社、アズフィット株式会社、株式会社アライン、株式会社アラクス、株式会社あらた、株式会社アルファ、アルフレッサ株式会社、アルフレッサヘルスケア株式会社、株式会社E.M.システムズ、株式会社医食同源ドットコム、株式会社伊勢半、イチジク製菓株式会社、イデシゴウ株式会社、株式会社伊藤園、井藤漢方製薬株式会社、伊藤忠オリコ保険サービス株式会社、インターコスメ株式会社、株式会社宇津木産業、株式会社unerry、株式会社宇野設計、株式会社エイジス、株式会社エイワ、江崎グリコ株式会社、エステー株式会社、株式会社H2O、株式会社エヌデーデー、エビス株式会社、エムイーエレクトリック株式会社、Meファルマ株式会社、株式会社近江兄弟社、オーエムネットワーク株式会社、株式会社大木、株式会社太田胃散、大塚食品株式会社、大塚製薬株式会社、株式会社大山、OKAINTER株式会社、株式会社オカムラ、株式会社オノコム、貝印株式会社、花王グループカスタマーマーケティング株式会社、春日井製菓株式会社、株式会社カナオコーポレーション、カバヤ食品株式会社、亀田製菓株式会社、カルビー株式会社、河津株式会社、合同会社河内建築計画事務所、カンダコーポレーション株式会社、キッコーマン食品株式会社、救心製菓株式会社、キューピー株式会社、協和薬品工業株式会社、キョーリンメディア株式会社、キリンビール株式会社、キリンビバレッジ株式会社、株式会社キンカン、熊野油脂株式会社、クラクツ・スミスクライン株式会社、クラシエホームプロダクツ販売株式会社、クラシエ薬品株式会社、株式会社クレオ、株式会社ケーエスケー、健栄製薬株式会社、株式会社高速、コーセー化粧品販売株式会社、コーセーコスメポート株式会社、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、国際商業出版株式会社、小林製薬株式会社、小林薬品工業株式会社、サイト建設株式会社、相模ゴム工業株式会社、坂元醸造株式会社、佐川印刷株式会社、佐藤製薬株式会社、株式会社サニクリーン名古屋、サラヤ株式会社、三甲株式会社、サンスター株式会社、参天製薬株式会社、サントリーフーズ株式会社、株式会社CBCテレビ、株式会社CBCラジオ、JA全農たまご株式会社、J-NET株式会社、ジェクス株式会社、養生堂ジャパン株式会社、株式会社ZIP-FM、ジャパンフリトレ株式会社、ジャベル株式会社、株式会社ジュン・コスメティック、ジョンソン株式会社、株式会社新東通信、株式会社スギ薬局、スギ薬局ユニオン、株式会社スズケン、ゼリア新薬工業株式会社、センコー株式会社、泉南乳業株式会社、株式会社そごう・西武、株式会社外林、大幸製紙株式会社、大幸薬品株式会社、大日本印刷株式会社、大日本除虫菊株式会社、大鵬薬品工業株式会社、大和証券株式会社、高木株式会社、株式会社タカツノ、株式会社タリヤ、チェックポイントジャパン株式会社、中京テレビ放送株式会社、中日販売株式会社、株式会社ツムラ、株式会社寺岡精工、デリバリーエース株式会社、株式会社電響社、株式会社店研創意、デンタルプロ株式会社、東海ラジオ放送株式会社、東芝テック株式会社、東邦薬品株式会社、東洋ナッツ食品株式会社、東和薬品株式会社、株式会社トーカーン、TOPPANエッジ株式会社、株式会社名古屋カード、株式会社なとり、株式会社ナリス化粧品、株式会社ニチレイフーズ、ニッケン文具株式会社、日清食品株式会社、日綜警備株式会社、日本電気株式会社、株式会社ネイチャーラボ、ネクスタ株式会社、ノーベル製菓株式会社、パール金属株式会社、白元アース株式会社、株式会社博報堂、はごろもフーズ株式会社、株式会社バスクリン、株式会社ハナノキ、株式会社ハマキョウレックス、株式会社林原、株式会社PALTAC、P&Gジャパン合同会社、株式会社ビーライトネオ、ビジョン株式会社、株式会社平賀、廣瀬無線電機株式会社、株式会社ファンケル、株式会社フェズ、補助工業株式会社、株式会社富士、株式会社藤原、フマキラー株式会社、プリ・テック株式会社、株式会社ブルボン、株式会社Basic、株式会社誠商會、株式会社マスパック、株式会社松村乳業、マルコム株式会社、丸富製紙株式会社、株式会社マンダム、株式会社三宅建築設計事務所、株式会社明治、明治フレッシュネットワーク株式会社、明祥株式会社、株式会社メディセオ、メディア株式会社、株式会社メニコン、持田ヘルスケア株式会社、森山産業株式会社、森永製菓株式会社、森永乳業株式会社、八神商事株式会社、山崎製パン株式会社、株式会社山星屋、山本漢方製薬株式会社、コースキン製菓株式会社、株式会社USEN、UHA味覚糖株式会社、株式会社ユーフ、ユニ・チャーム株式会社、株式会社ユヤマ、養命酒製造株式会社、横山製菓株式会社、株式会社読売I5、ライオン株式会社、レック株式会社、ロード製菓株式会社、ロジスティック中部株式会社、株式会社ロッテ、株式会社ワイ・ヨット、株式会社ワイエム・アーキソリューションズ、株式会社若都建設、わかもと製菓株式会社、ワジス機械株式会社(企業名五十音順)

## 杉浦賞受賞者一覧 (2012～2022年度)

### 第1回 杉浦賞受賞者 (2012年度)

群馬県における地域リハと認知症の地域医療・リハ・ケア連携システムの構築：群馬リハネットとぐんま認知症アカデミーの活動

**山口 晴保 氏**

ぐんま認知症アカデミー 代表幹事  
群馬県地域リハビリテーション協議会 委員長  
群馬リハビリテーションネットワーク 副理事長

庄内地域医療連携の会の活動

**瀬尾 利加子 氏**

庄内地域医療連携の会 事務局長 (所属：鶴岡協立病院 地域医療連携室)

歯科医師・歯科衛生士と在宅医療連携拠点が構築する医科歯科連携促進

**川越 正平 氏 / 山口 朱見 氏**

医療法人財団千葉健愛会 あおぞら診療所

薬剤師の診察前面談から始まる新たな薬局機能の開発～ワーファリン服用患者のPT-INR管理の情報共有システム～

**山村 恵子 氏**

愛知学院大学 薬学部 教授



### 第2回 杉浦賞受賞者 (2013年度)

地域包括支援センターを核とした、高齢者見守りネットワーク構築～おおた高齢者見守りネットワークの活動～

**中村 一孝 氏**

おおた高齢者見守りネットワーク 代表

**澤登 久雄 氏**

おおた高齢者見守りネットワーク 発起人  
大田区地域包括支援センター入新井 センター長  
社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 医療福祉部 兼 在宅医療部 部長

慢性疾患セルフマネジメントプログラムを通じた多職種連携の取り組み

**伊藤 雅治 氏**

特定非営利活動法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会 理事長

新しい地域医療の創出にむかって—21世紀のプライマリ・ヘルスケアを礎として考える

**本田 徹 氏**

浅草病院 医師 / 特定非営利活動法人シェア=国際保健協力市民の会 代表理事



### 第3回 杉浦賞受賞者 (2014年度)

若年認知症の人と家族のネットワーク構築に向けて地域で支援する活動

**高見 国生 氏**

公益社団法人認知症の人と家族の会 代表理事

地域多職種との地域包括ケアシステム勉強会を積み重ねて

**内海 眞 氏**

独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院 病院長

在宅慢性呼吸不全患者に対する訪問看護を中心とした地域連携による包括的呼吸ケアの展開

**大平 峰子 氏**

北信ながいき呼吸体操研究会  
独立行政法人国立病院機構 東長野病院



### 第4回 杉浦賞受賞者 (2015年度)

地域の特性に応じた認知症初期支援体制構築の支援

**栗田 主一 氏**

東京都健康長寿医療センター研究所  
自立促進と介護予防研究チーム 研究部長

名古屋市医師会の在宅医療・介護連携の取組みについて：

「在宅医療・介護連携支援センター」

「在宅医療・介護支援システム」

「名古屋市在宅医療・介護連携ガイドライン」

**真野 寿雄 氏**

一般社団法人名古屋市医師会 在宅医療・介護連携担当理事

地域包括ケアの要となる訪問看護の提供基盤を支える取組み～訪問看護ネットワーク支援システムの構築と運用支援～

**佐藤 尚子 氏**

公益社団法人香川県看護協会 訪問看護ネットワーク センター長

自分たちの健康は自分たちで守る—ライフケアシステム35年の経験から

**辻 彼南雄 氏**

一般社団法人ライフケアシステム 代表理事

水道橋東口クリニック 院長

高齢者を支える学際的チームアプローチ 推進ネットワーク 理事長

日本在宅ケア学会 副理事長

患者協働の医療の実現に向けて

～医療者・患者がともに学ぶ場を街につくる～

**患医ねっととペイシエントサロン**



第1回



第2回



第3回



第4回

## 第5回 杉浦賞受賞者 (2016年度)



■ オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築

### 京都地域包括ケア推進機構

■ 佐久農村医療から被災地石巻の地域包括ケアへ  
～いのちを大事にする社会を目指して～

### 長 純一 氏

石巻市立病院開成仮診療 所長／石巻市包括ケアセンター長

■ ケアマネジャーが孤立しないために、なにより燃え尽きないために、そしてお互いが学び合い育ち合うために

### 白木 裕子 氏

株式会社フジケア 取締役社長

■ 専門職として住み慣れた地域で安心してその人らしく住み続ける支援をする活動を広げる

### 村田 美穂子 氏

一般社団法人滋賀県介護福祉士会 会長  
特定非営利活動法人宅老所心 理事長

■ すべての人々に有益な健康増進運動の普及・啓発をスローガンに  
超高齢社会の救世主となるべく

「メディカルノルディック・ウォーキング」の確立に全力を注ぐ!!

### 木村 健二 氏

一般社団法人全日本ノルディック・ウォーク連盟

## 第6回 杉浦賞受賞者 (2017年度)



■ 共生社会の創造と熊本地震支援

### 小笠原 嘉祐 氏

特定非営利活動法人おーさあ 理事長  
社会福祉法人リデルライトホーム 理事長  
特定医療法人社団 ビネル会ビネル記念病院 理事長  
熊本県社会福祉法人経営者協議会 会長

■ 認知症とともに生きる本人が、  
ともによりよく生きる社会を創り出すことを目的に活動を展開

### 日本認知症ワーキンググループ

■ 口腔ケアの国民への普及

—「口腔ケアの日」を通じて知ってもらいたいこと—

### 夏目 長門 氏

愛知学院大学歯学部附属病院 教授 医学博士 歯学博士  
日本口腔外科学会 指導医、日本口腔ケア学会 指導医

■ 長年にわたる在宅患者への訪問看護実践・訪問看護を推進する  
看護人材育成と訪問看護の普及活動

### 内田 恵美子 氏

株式会社日本在宅ケア教育研究所 代表取締役

## 第7回 杉浦賞受賞者 (2018年度)



■ 新宿区における若者自殺うつ予防活動

### 特定非営利活動法人 Light Ring.

■ 失語症者の地域生活を支援する ～途切れない支援をめざして～

### 愛知県失語症会話パートナーの会

### 特定非営利活動法人あなたの声

■ 都市部とへき地診療所の融合モデル—今後の地域包括ケアモデルとして

### 医療法人ゆうの森 たんぽぽ俵津診療所

■ 超高齢社会に対応できる「在宅訪問管理栄養士」の  
人材育成と活動のしくみづくり

### 公益社団法人愛知県栄養士会

### 在宅医療・介護委員会

■ 子どもから高齢者まで幅広い世代の食生活を地域で支援するしくみの開発と普及

### 平野 覚治 氏

老人給食協会ふきのとう 代表  
社会福祉法人ふきのとうの会 理事長  
一般社団法人全国食支援活動協会 専務理事

## 第8回 杉浦賞受賞者 (2019年度)



■ がん患者のアピアランス (外見) サポート活動

### 特定非営利活動法人

### 全国福祉理美容師養成協会 (NPOふくりび)

■ 生活者の想いに寄り添う地域包括ケアの構築

地域包括ケア支援システム『ナラティブブック秋田』

### 一般社団法人由利本荘医師会

■ 生きづらさを抱える少女・若年女性に対する多角的な支援

### 一般社団法人若草プロジェクト

■ 東日本大震災被災地における長期メンタルヘルス  
支援活動

### 特定非営利活動法人

### 心の架け橋いわて

■ 全世代対象対応型拠点 おおもり語らいの駅 事業

### 澤登 久雄 氏

社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院  
地域ささえあいセンター センター長



第5回



第6回



第7回



第8回

※各QRコードから動画等もご覧いただけます。(受賞者の所属・役職は受賞当時)

## 第9回 杉浦賞受賞者 (2020年度)

地域包括ケアと災害医療対策

### 千葉県野田保健所

松本 良二 氏 千葉県野田保健所 所長

視覚障害者などに対する食に関する情報の提供と食育の推進

### 公益財団法人すこやか食生活協会

中川 坦 氏 公益財団法人 すこやか食生活協会 理事長

ゆるくて楽しい歩行圏コミュニティづくり

### 富山大学歩行圏コミュニティ研究会

中林 美奈子 氏 富山大学 学術研究部 医学系地域看護学講座 准教授  
富山大学歩行圏コミュニティ研究会 代表

地ストーマ保有者が暮らしやすい社会をめざした活動

～“わからない”を笑顔のある生活へ～

### 特定非営利活動法人

### ストーマ・イメージアップ・プロジェクト

土田 敏恵 氏 特定非営利活動法人 ストーマ・イメージアップ・プロジェクト 代表

あいりんのおっちゃんと共に生きる

### 社会福祉法人石井記念愛染園

### あいりん地域総合相談窓口

高市 里美 氏 社会福祉法人石井記念愛染園 あいりん地域総合相談窓口



## 第10回 杉浦賞受賞者 (2021年度)

まちっこプロジェクト

### 松戸市医師会健康啓発委員会

川越 正平 氏

「あした晴れますように」認知症の人の家族介護者向け教室  
(通称:あすはれ教室)

### 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

### もの忘れセンター

### 認知症心理社会的支援プロジェクトチーム

櫻井 孝 氏 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター もの忘れセンター センター長

清家 理 氏 同外来研究員

竹内 さやか 氏 同認知症看護認定看護師

訪問看護を基盤とした地域共生社会への支援

### 一般社団法人南区医師会

### 南区医師会訪問看護ステーション

高砂 裕子 氏 管理者



## 第11回 杉浦賞受賞者 (2022年度)

団地を一つの大きな家族に

### 株式会社ぐるんとびー 特定非営利活動法人ぐるんとびー

菅原 健介 氏 株式会社ぐるんとびー 代表取締役

東日本大震災後の心のケア ～地域で取り組む多職種チームのキセキ～

### 特定非営利活動法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会

米倉 一磨 氏 相馬広域こころのケアセンターなごみ センター長

在宅で生活する医療的ケア児とその家族を支える多職種ネットワーク連携活動

### 宮崎 つた子 氏 e-ケアネットよっかいち代



第9回



或医療振興賞・杉浦地域医療振興



第11回

第10回



第11回 杉浦地域医療振興賞・杉浦地域医療振興助成 授与式



第11回



※各QRコードから動画等もご覧いただけます。(受賞者の所属・役職は受賞当時)

# 杉浦助成対象者一覧 (2012～2022年度)

## 第1回 杉浦助成対象者 (2012年度)

- |         |                               |          |                     |
|---------|-------------------------------|----------|---------------------|
| 数井 裕光 氏 | 大阪大学 大学院医学系研究科 精神医学教室 講師      | 今津 嘉宏 氏  | 港区在宅緩和ケア研究会 会長      |
| 高瀬 佳苗 氏 | 福島県立医科大学 看護学部 准教授             | 番匠 千佳子 氏 | 聖隷浜松病院 看護部          |
| 五十嵐 中 氏 | 東京大学 大学院薬学系研究科 医薬政策学 特任助教     | 立石 容子 氏  | 大阪府訪問看護ステーション協議会 理事 |
| 富樫 敦 氏  | 公立大学法人宮城大学 事業構想学部 デザイン情報学科 教授 |          |                     |

## 第2回 杉浦助成対象者 (2013年度)

- |          |  |          |                                    |
|----------|--|----------|------------------------------------|
| 平川 仁尚 氏  | 名古屋大学大学院医学系研究科附属クリニカルシミュレーションセンター 病院助教   | 成田 有吾 氏  | 三重大学 医学部 看護学科 教授                   |
| 富樫 敦 氏   | 公立大学法人宮城大学 事業構想学部 デザイン情報学科 教授            | 阪野 静 氏   | 特定非営利活動法人がん患者サポート研究所「きぼうの虹」保健師     |
| 小嶋 佳代子 氏 | 西尾市民病院 看護部 地域医療連携室 室長                    | 川嶋 みどり 氏 | 一般社団法人日本で・あーて、TE・ARTE、推進協会         |
| 阿部 泰之 氏  | 旭川医科大学病院 緩和ケア診療部 副部長                     | 野崎 園子 氏  | 兵庫医療大学 リハビリテーション学部 大学院医療科学研究科 教授   |
| 平林 久幸 氏  | 医療法人ライフサポート わたらせリバーサイドクリニック 理事長          | 倉賀野 穰 氏  | 株式会社モバイルカザス 代表取締役                  |
| 平原 佐斗司 氏 | 東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所 副理事長<br>在宅サポートセンター長 | 金子 康彦 氏  | 独立行政法人国立長寿医療研究センター 栄養管理部<br>栄養管理室長 |

## 第3回 杉浦助成対象者 (2014年度)

- |         |                                     |          |   |
|---------|-------------------------------------|----------|---|
| 井階 友貴 氏 | 福井大学 医学部 地域プライマリケア講座 講師             | 成田 光江 氏  | 国際医療福祉大学                                |
| 宮田 康好 氏 | 長崎大学病院 泌尿器科 腎移植外科 准教授               | 内田 信之 氏  | 特定非営利活動法人あがつま医療アカデミー 理事長<br>原町赤十字病院 副院長 |
| 小野 理恵 氏 | 群馬大学医学部附属病院 薬剤部                     | 松浦 尊磨 氏  | 多可赤十字病院 院長                              |
| 清家 理 氏  | 京都大学こころの未来研究センター 上廣こころ学研究部門 助教      | 安井 浩樹 氏  | 名古屋大学 大学院医学系研究科 地域医療教育学講座<br>准教授        |
| 任 和子 氏  | 京都大学 大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 教授          | 石川 朗 氏   | 神戸大学 大学院保健学研究科                          |
| 野中久美子 氏 | 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健<br>研究チーム | 石井 麻有子 氏 | 千葉大学環境健康フィールド科学センター                     |
| 高見 清美 氏 | 学校法人大阪滋慶学園 大阪保健福祉専門学校               |          |   |

## 第4回 杉浦助成対象者 (2015年度)

- |         |   |          |   |
|---------|---|----------|---|
| 荒井 國三 氏 | 金沢大学 医薬保健研究域薬学系 教授                                    | 大久保 健作 氏 | 社会医療法人社団 大久保病院 理事長                        |
| 西川 満則 氏 | 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 地域医療<br>連携室長 緩和ケア診療部 EOLケアチーム 医師 | 増田 昌人 氏  | 琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 診療教授              |
| 中村 一孝 氏 | おおた高齢者見守りネットワーク 代表                                    | 渡邊 浩一郎 氏 | 大分県厚生農業協同組合連合会 鶴見病院 腫瘍内科部長                |
| 鈴木 恵子 氏 | ボランティアグループ すずの会 代表                                    | 田中 貴子 氏  | 長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 保健学専攻 理学・<br>作業療法学講座 助教 |
| 野村 秀樹 氏 | 医療法人あいち診療会 あいち診療所野並                                   | 湯本 哲郎 氏  | 星薬科大学薬学教育研究センター 薬剤師職能開発研究部門<br>准教授        |
| 松田 幸久 氏 | 金沢医科大学総合医学研究所プロジェクト研究センター<br>精神神経科学 特定職員 (ポストドクター)    | 古屋 聡 氏   | 山梨市立牧丘病院                                  |
| 荒井 秀典 氏 | 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 副病院長                             | 山下 和彦 氏  | 東京医療保健大学 医療保健学部 医療情報学科 教授                 |

## 第5回 杉浦助成対象者 (2016年度)

- |          |  |          |                               |
|----------|--|----------|-------------------------------|
| 齊藤 正樹 氏  | 札幌医科大学アドミッションセンター 講師 (兼) 神経内科<br>脳神経外科 | 太田 亜里美 氏 | 新潟県立大学 人間生活学部 健康栄養学科 准教授      |
| 大澤 匡弘 氏  | 名古屋市立大学 大学院薬学研究科 神経薬理学分野               | 石丸 美奈 氏  | 千葉大学 大学院看護学研究科 准教授            |
| 久保田 洋子 氏 | 日本薬科大学 教授                              | 赤津 裕康 氏  | 名古屋市立大学 大学院医学研究科 地域医療教育学 特任教授 |
| 平井 みどり 氏 | 神戸大学医学部附属病院 薬剤部 教授・部長                  | 井上 真一郎 氏 | 岡山大学病院 精神科神経科 助教              |
| 山田 清文 氏  | 名古屋大学医学部附属病院 教授・薬剤部長                   | 柴田 龍宏 氏  | 久留米大学 医学部 内科学講座 心臓・血管内科部門 助教  |
| 安部 陽子 氏  | 日本赤十字看護大学 准教授                          | 西尾 美登里 氏 | 福岡大学 医学部 看護学科 助手 看護学博士        |
| 朝田 隆 氏   | 東京医科歯科大学脳統合機能研究センター 認知症研究部門<br>特任教授    |          |                               |

※詳しくは杉浦記念財団ホームページをご確認ください。(対象者の所属・役職は助成当時)

## 第6回 杉浦助成対象者 (2017年度)

- 下村 裕見子 氏 北里大学 医学部 精神科学  
菊池 守 氏 下北沢病院 病院長  
瀧 愛美 氏 三重県立看護大学 大学院看護学研究科 生涯看護学分野 小児看護領域 大学院生  
岩瀬 弘明 氏 京都橘大学 健康科学部 理学療法学科  
石川 翔吾 氏 静岡大学 情報学部  
宮里 実 氏 琉球大学 大学院医学研究科 医科学専攻 腎泌尿器外科学講座  
清野 諭 氏 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健 地域保健研究チーム 研究員  
野中 久美子 氏 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健 研究チーム  
融 衆太 氏 新渡戸記念中野総合病院 神経内科部長  
横山 和仁 氏 順天堂大学 医学部 衛生学講座 教授
- 安部 恵 氏 一般社団法人松戸市薬剤師会 理事 日本大学薬学部薬剤師教育センター 准教授  
阿真 京子 氏 一般社団法人知ろう小児医療守ろう子ども達の会 代表  
嶋澤 順子 氏 東京慈恵会医科大学 医学部 看護学科 地域看護学  
児嶋 亮 氏 一般社団法人京都府作業療法士会 精神科分野勉強会 ひきこもり支援ワーキンググループ 代表  
北 和子 氏 とよあしネットワーク 成田記念病院 透析室 看護師  
宮崎 つた子 氏 公立大学法人三重県立看護大学 地域交流センター センター長 小児看護学 教授  
神植 達也 氏 アイン薬局浦和店 薬剤師  
柴田 弘子 氏 難病支援研究会 代表、産業医科大学 産業保健学部 教授  
金子 真理子 氏 東名古屋病院 整形外科 (チームだるま)  
桑原 直行 氏 対馬市いづはら診療所

## 第7回 杉浦助成対象者 (2018年度)

- 井上 里加子 氏 岡山県立大学 保健福祉学部 栄養学科  
田上 佑輔 氏 医療法人社団やまと やまと在宅診療所 登米 院長  
松田 幸久 氏 福山市立大学 都市経営学部 准教授  
泉澤 恵 氏 日本大学 薬学部  
富樫 敦 氏 公立大学法人宮城大学 事業構想学群 価値創造デザイン学類 教授  
高村 昭輝 氏 金沢医科大学 医学教育講座 / 地域医療学講座 講師  
宮崎 つた子 氏 公立大学法人三重県立看護大学 小児看護学 教授、「e-ケアネットよっかいち」代表  
溝神 文博 氏 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 薬剤部  
友田 燁夫 氏 医療法人陽気会 網小医院 院長  
串田 一樹 氏 昭和薬科大学 地域連携薬局イノベーション講座 特任教授
- 福澤 恵 氏 茨城県立医療大学 大学院保健医療科学研究科  
小山 善哉 氏 長崎市見通丸医歯 歯科医師  
保里 恵一 氏 愛知県厚生農業協同組合連合会 知多厚生病院 地域医療福祉連携部長 附属篠島診療所長  
水内 義明 氏 NPO法人 健康サロン 代表理事  
永井 徹 氏 新潟医療福祉大学 健康科学部 健康栄養学科  
柴本 美佐代 氏 一般社団法人日本エルダーライフ協会 代表理事  
西村 善博 氏 神戸大学医学部附属病院 呼吸器内科 特命教授 / 副院長  
高山 かおる 氏 一般社団法人足育研究会 代表理事  
谷合 憲明 氏 特定非営利活動法人由利本荘にかほ市民が健康を守る会 理事長

## 第8回 杉浦助成対象者 (2019年度)

- 渡邊 理恵 氏 久留米大学 医学部看護学科 講師  
石川 和美 氏 南医療生活協同組合 総合病院南生協病院 看護師  
亀井 智泉 氏 信州大学 医学部 新生児学・療育学講座 特任助教  
山下 和彦 氏 医療法人社団至高会 たかセクリニック 地域医療研究部 部長  
成田 有吾 氏 三重大学 大学院医学系研究科 看護学専攻 教授  
上田 和孝 氏 東京大学 大学院医学系研究科 コピキタス予防医学講座 特任助教  
中村 麻弥 氏 鹿児島大学病院 口腔顎顔面センター 口腔外科 医員  
井上 誠 氏 新潟大学 大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授  
東田 雪絵 氏 名古屋大学 大学院医学系研究科 看護学専攻 博士前期課程2年 医療法人名古屋澄心会 名古屋ハートセンター 看護師  
北上 守俊 氏 新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 助教  
寺石 文則 氏 岡山大学病院 消化管外科 講師  
山口 佳小里 氏 国際医療福祉大学 成田保健医療学部 作業療法学科 講師 (作業療法士)
- 菊谷 則行 氏 任意団体「松戸市の地域活動を推進する会」代表  
瀧本 まり子 氏 東京医療保健大学 看護学部 看護学科 認知症看護認定看護師  
村田 美保 氏 独立行政法人地域医療機能推進機構 東京城東病院 認知症看護認定看護師  
谷口 明 氏 いび川農業協同組合 デイサービスセンター清流の里 言語聴覚士  
立木 一美 氏 岐阜県厚生農業協同組合連合会 岐阜・西濃医療センター 揖斐厚生病院 言語聴覚士  
奥 健志 氏 北海道大学病院 内科II 講師  
内田 信之 氏 原町赤十字病院 副院長兼第1外科部長  
井上 真一郎 氏 岡山大学病院 精神科神経科 助教  
大河内 章三 氏 認知症に優しいまちづくり実行委員会 代表  
横道 正克 氏 一般社団法人久留米健康くらぶ 理事長  
志賀 悠平 氏 福岡大学病院 循環器内科 講師  
矢津 剛 氏 医療法人矢津内科消化器科クリニック 院長

### 第9回 杉浦助成対象者 (2020年度)

**福田 仁氏** 高知大学 医学部附属病院 脳神経外科 特任講師  
**岡田 浩氏** 京都大学 大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 特定講師  
**小幡 匡史氏** 合同会社Think Body Japan 代表社員  
**河西 千秋氏** 札幌医科大学 医学部 神経精神医学講座 主任教授  
**笹山 哲氏** 京都大学 大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 准教授  
**串田 一樹氏** 昭和薬科大学 地域連携薬局 イノベーション講座/特任教授  
**間辺 利江氏** 名古屋市立大学 大学院医学研究科 次世代医療開発学 分野 准教授  
**西尾 美登里氏** 日本赤十字九州国際看護大学 講師  
**柳 久子氏** 筑波大学 医学医療系 保健医療学域 福祉医療学 准教授  
**迫田 綾子氏** 日本赤十字広島看護大学 名誉教授/  
はつかいち暮らしと看取りのサポーター

**丸岡 弘治氏** 介護老人保健施設横浜あおばの里 薬局長  
**密山 要用氏** 東京大学 大学院医学系研究科 医学教育国際研究センター 医学教育学部門 客員研究員  
**森 安美氏** ゆめ伴プロジェクトin門真実行委員会 総合プロデューサー (主任介護支援専門員、社会福祉士)  
**木下 彩栄氏** 京都大学 大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 教授  
**竹内 淳子氏** じゅんちゃん一座 座長(代表)  
**後藤 みなみ氏** 特定非営利活動法人ドリーム 事務局長  
**五味 達之祐氏** 雲南市役所 身体教育医学研究所うなん 研究員(管理栄養士)  
**原見 美帆氏** 一般社団法人メンタルウェルビーイングパートナーズ 理事長  
**五十嵐 知文氏** 札幌市 豊平区西岡・福住地区 在宅医療連携拠点事業推進協議会(とよひら・りんく) 会長  
社会医療法人恵和会 西岡病院 院長  
**山西 友規氏** 訪問看護ステーション相扶 訪問看護師

### 第10回 杉浦助成対象者 (2021年度)

**湊口 信也氏** 岐阜市民病院 心不全センター長/岐阜大学 大学院 特任教授  
岐阜心臓リハビリテーションネットワーク 代表  
**夏目 長門氏** 一般社団法人日本口腔ケア学会 理事長  
**三木 啓資氏** 立行政法人国立病院機構 大阪刀根山医療センター 呼吸器内科 兼 臨床研究部 呼吸学研究室長  
**間瀬 広樹氏** 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 副薬剤部長  
**小堀 宅郎氏** 大阪大谷大学 薬学部 臨床薬剤学講座 助教  
**小泉 亜紀子氏** 関西医科大学 大学院看護学研究科 博士後期課程  
**林 園子氏** 一般社団法人ICTリハビリテーション研究会 代表理事  
**田附 裕子氏** 大阪大学 大学院医学系研究科 准教授

**森 亮太氏** いつだれkitchen 代表  
**琢磨 寛孝氏** 一般社団法人宝塚市薬剤師会 理事  
**阿南 節子氏** 医療法人英仁会 大阪プレストクリニック 薬剤部 薬剤師  
**池谷 啓氏** 特定非営利活動法人楽舎 理事長  
**小野 雅之氏** 地域を明るくするリハビリテーション専門職の会 代表  
**井上 真一郎氏** 岡山大学病院 精神科神経科 助教  
**渡邊 理恵氏** 久留米大学 医学部 看護学科 講師  
**福井 繁雄氏** 一般社団法人Life Happy Well 理事

### 第11回 杉浦助成対象者 (2022年度)

#### [研究分野]

**武 ユカリ氏** 森ノ宮医療大学 看護学部 看護学科 准教授  
**宇佐美 琢也氏** 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 整形外科 助教  
**斎藤 民氏** 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 老年社会科学部 部長  
**末松 三奈氏** 名古屋大学 大学院医学系研究科 地域医療教育学講座 特任講師  
**佐藤 宏樹氏** 東京大学 大学院薬学系研究科 特任准教授/  
大学院情報学環 准教授  
**相宮 幸典氏** 藤田医科大学 大学院看護学研究科 研究員  
**菊地 基雄氏** 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 教授(診療担当)  
**岡崎 研太郎氏** 九州大学 大学院医学研究院 地域医療教育ユニット 助教

#### [活動分野]

**小野 賢二郎氏** 金沢大学 大学院医薬保健学総合研究科 脳神経内科学 教授/認プロプロジェクトリーダー  
**今井 崇裕氏** 医療法人康仁会 西の京病院 メディカルプラザ薬師西の京 血管外科センター 医師  
**宮谷 真紀子氏** CLEAR JAPAN 代表  
**鈴木 渉太氏** 奈良県立医科大学附属病院 臨床研究センター 助教  
**尾形 京子氏** 飯岡・永井地域包括支援センター 第二層生活支援コーディネーター 兼 認知症地域推進員  
**中村 和人氏** 山梨大学医学部附属病院 循環器内科 学部内講師  
**三瀧 英樹氏** 合同会社大石田生活 代表



第11回杉浦助成対象者より



※詳しくは杉浦記念財団ホームページをご確認ください。(対象者の所属・役職は助成当時)

# 研究会開催実績 (2012～2022年度)

## 1 都市型の看護介護医療等連携研究会

第1期	あるべき姿の議論 ～課題と問題点を中心に～	[座長] 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター名誉総長 <b>大島 伸一 氏</b> [期間] 2012年4月～15年6月 (33回開催)
第2期	認知症の人がより良く生きていける社会の実現を目指す	[座長] 慶応義塾大学 名誉教授 <b>田中 滋 氏</b> [期間] 2015年8月～17年10月 (13回開催)
第3期	常に進化し続ける 地域包括ケアシステムの概念と実態	[座長] 慶応義塾大学 名誉教授 <b>田中 滋 氏</b> [期間] 2018年1月～19年3月 (8回開催)
第4期	地域包括ケアシステムの深化 ～生活支援を含む複合サービスが地域を支える～	[座長] 埼玉県立大学 理事長／慶応義塾大学 名誉教授 <b>田中 滋 氏</b> [期間] 2019年5月～22年12月 (16回開催)

◎『都市型の看護介護医療等連携研究会講演録』を制作 (第1期～第4期をvol.1～vol.7までに収録)



## 2 地域包括ケアにおける医薬品適正使用協働研究会

開催実績	2014年10月～16年12月 19回開催	2018年2月～20年12月 15回開催	2021年2月～21年12月 6回開催
------	--------------------------	-------------------------	------------------------

◎2022年度

回数	開催日	テーマ／講師
第41回	2月 9日 (水)	「食事・運動などの生活習慣改善による循環器疾患対策」 <b>湊口 信也 氏</b> 岐阜市民病院心不全センター・岐阜大学名誉教授・特任教授
第42回	4月13日 (水)	「小児在宅医療における調剤薬局の役割」 <b>水野 美穂子 氏</b> 社会医療法人宏潤会大同病院 大同こども総合医療センター
第43回	6月 8日 (水)	「残薬を管理することが、医薬品の安全適正使用への近道!」 <b>福井 繁雄 氏</b> 一般社団法人Life Happy Well
第44回	8月10日 (水)	「地域で考える薬剤適正使用に向けた宝塚市の取り組み」 <b>琢磨 寛孝 氏</b> 宝塚市薬剤師会 理事
第45回	10月12日 (水)	「高齢者糖尿病の薬物療法について ～多職種協働の視点を踏まえて～」 <b>末松 三奈 氏</b> 国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学大学院医学系研究科 地域医療教育学講座 特任講師 糖尿病専門医 博士(医学)
第46回	12月14日 (水)	「薬剤総合評価調整加算／薬剤調整加算 ～光と影～」 <b>水野 智博 氏</b> 藤田医科大学 医学部 臨床薬剤科 准教授

# 3 愛知県地域再生・まちづくり研究会

開催実績

[第1期] 2015年4月～18年5月 (32回)

[第2期] 2018年6月～現在

2022年度

第41回 3月25日(金) 3年間の報告 意見交換

第42回～47回 シンポジウムに向けた意見交換



# 4 健康寿命延伸と介護予防を考える会

2103年に策定された第2次健康日本21では、「健康寿命の延伸」を最重要課題の一つに位置付け、高齢期における健康増進につながる様々な取り組みや、要介護状態を予防するための様々な施策を実行に移しています。

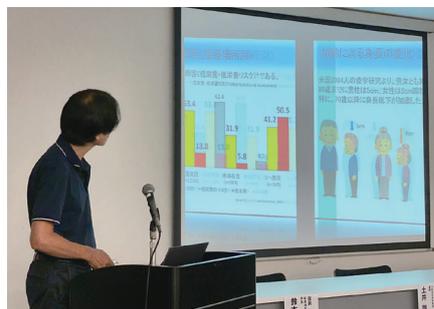
研究会  
の  
趣旨

1. 介護予防を必要とする状態にかかわる概念や指標の整理
2. 介護予防施策における予防効果のエビデンスの確立と普及
3. 健康寿命延伸・介護予防の具体的な対策における標準プロトコルの提言

[座長] 桜美林大学 老年学総合研究所 所長・大学院教授 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 理事長特任補佐  
**鈴木 隆雄 氏**

開催実績

2016年9月～19年12月 16回開催



※講師の所属・役職は講演当時

これまでの活動記録

# 健康増進セミナー開催実績 (2013～2022年度)

開催地	開催日	参加人数
<b>2013年度</b>		
兵庫(神戸市)	4月 6日(土)	480名
三重(津市)	5月25日(土)	400名
愛知(名古屋市)	6月16日(日)	800名
京都(京都市)	7月15日(月・祝)	500名
埼玉(さいたま市)	9月 8日(日)	500名
岐阜(大垣市)	10月 5日(土)	460名
滋賀(大津市)	11月 2日(土)	450名
<b>2014年度</b>		
東京(大田区)	1月18日(土)	400名
大阪(大阪市)	2月22日(土)	650名
群馬(前橋市)	3月 9日(日)	650名
兵庫(尼崎市)	4月19日(土)	650名
三重(四日市市)	5月25日(日)	600名
愛知(名古屋市)	6月15日(日)	800名
京都(京都市)	7月19日(土)	500名
埼玉(さいたま市)	9月20日(土)	500名
岐阜(岐阜市)	10月26日(日)	600名
神奈川(横浜市)	11月 1日(土)	500名
<b>2015年度</b>		
東京(文京区)	1月10日(土)	673名
大阪(大阪市)	2月14日(土)	936名
群馬(高崎市)	3月14日(土)	466名
兵庫(神戸市)	4月18日(土)	728名
三重(四日市市)	5月16日(土)	771名
愛知(名古屋市)	6月27日(土)	1,225名
埼玉(さいたま市)	7月 5日(日)	663名
京都(京都市)	9月 6日(日)	647名
岐阜(岐阜市)	10月17日(土)	792名
神奈川(横浜市)	11月 7日(土)	200名
<b>2016年度</b>		
東京(文京区)	1月30日(土)	310名
大阪(大阪市)	2月20日(土)	450名

開催地	開催日	参加人数
群馬(高崎市)	3月19日(土)	240名
兵庫(尼崎市)	4月16日(土)	400名
三重(四日市市)	5月21日(土)	490名
愛知(名古屋市)	6月 5日(日)	700名
埼玉(さいたま市)	7月 2日(土)	330名
京都(京都市)	9月 4日(日)	440名
岐阜(岐阜市)	10月15日(土)	400名
愛知(豊橋市)	11月 6日(日)	330名
<b>2017年度</b>		
東京(文京区)	1月28日(土)	525名
大阪(大阪市)	2月18日(土)	718名
群馬(高崎市)	3月20日(月・祝)	482名
兵庫(神戸市)	4月15日(土)	381名
三重(津市)	5月13日(土)	658名
愛知(名古屋市)	6月17日(土)	596名
埼玉(川越市)	7月22日(土)	466名
京都(京都市)	9月30日(土)	587名
岐阜(岐阜市)	10月28日(土)	735名
<b>2018年度</b>		
東京(大田区)	1月 8日(月・祝)	308名
大阪(大阪市)	2月10日(土)	450名
兵庫(神戸市)	4月 7日(土)	330名
愛知(名古屋市)	5月13日(日)	460名
三重(津市)	6月24日(日)	362名
埼玉(さいたま市)	7月16日(月・祝)	370名
京都(京都市)	9月24日(月・祝)	370名
岐阜(岐阜市)	10月20日(土)	450名
<b>2019年度</b>		
東京(江東区)	1月12日(土)	250名
大阪(大阪市)	2月 3日(土)	620名
兵庫(神戸市)	4月27日(土)	550名
埼玉(さいたま市)	7月14日(日)	545名
京都(京都市)	9月23日(月・祝)	566名

開催地	開催日	テーマ／講師	参加人数
<b>2020年度</b>			
大阪	1月19日(日)	<p>おうちで看取る在宅医の話 <b>清水 一亘氏</b> 緑・在宅クリニック院長</p> <hr/> <p>らくらく代謝アップ術 <b>柏木 武志氏</b> コナミスポーツ スタートレーナー</p>	600名
東京	2月 1日(土)	<p>認知症の最新治療から予防まで <b>新井 平伊氏</b> アルツククリニック東京 院長／順天堂大学 名誉教授</p> <hr/> <p>らくらく代謝アップ術 <b>貞 喜代彦氏</b> コナミスポーツクラブ目黒青葉台 フィットネスインストラクター</p>	500名
愛知・東京・大阪 【3元中継】	8月30日(日)	<p>ポストコロナ時代の健康長寿を考える <b>荒井 秀典氏</b> 国立長寿医療研究センター理事長</p> <hr/> <p>健康応援薬局の役割とは <b>杉浦 伸哉</b> 杉浦記念財団副理事長</p>	300名
愛知・東京・大阪 【3元中継】	9月27日(日)	<p>コロナと共に生きる時代、薬局をどう活用するか？ <b>堀 美智子氏</b> スギホールディングス社外取締役</p> <hr/> <p>病気の予防や健康維持、簡単な栄養アドバイス！ <b>吉本 のりこ</b> スギ薬局管理栄養士</p>	500名
愛知・東京・大阪 【3元中継】	10月25日(日)	<p>ウィズコロナ時代の認知症予防と治療 <b>勝野 雅央氏</b> 名古屋大学大学院医学系研究科教授</p> <hr/> <p>地域での薬局薬剤師の活躍 <b>山本 卓資</b> スギ薬局戸店管理薬剤師</p>	500名
<b>2021年度</b>			
愛知・東京・大阪・石川 【4元中継】	4月25日(日)	<p>健康を保つ方法：内科医のつぶやき <b>金子 周一氏</b> 金沢大学附属病院 消化器内科教授／WHO 協力センター長</p> <hr/> <p>地域に貢献する薬局の役割 <b>杉浦 伸哉</b> 杉浦記念財団副理事長／スギホールディングス株式会社 取締役／株式会社スギ薬局 常務取締役／スギメディカル株式会社 取締役</p>	600名
<b>2022年度</b>			
愛知	3月20日(日)	<p>腸内細菌と日本食：認知症との深い関係 <b>佐治 直樹氏</b> 国立長寿医療研究センター もの忘れセンター副センター長</p> <hr/> <p>セルフメディケーションのコツ <b>蓮実 豊</b> スギ薬局DI室・御油店／薬剤師・糖尿病療養指導士</p>	200名
愛知・埼玉・大阪 (2カ所)・石川【5元中継】	5月29日(日)	<p>コロナに負けず「人生100年」を幸せに生きる <b>鎌田 實氏</b> 諏訪中央病院名誉院長／地域包括ケア研究所所長／「がんばらない介護生活を考える会」代表</p> <hr/> <p>年代別のダイエット <b>味岡 一輝</b> スギ薬局 管理栄養士 人材開発部 医療教育課／藤田医科大学 大学院 保健学研究科 学生</p>	720名
愛知・埼玉・大阪 (2カ所)・石川【5元中継】	10月16日(日)	<p>気をつけたい、多すぎる薬と副作用 <b>秋下 雅弘氏</b> 東京大学大学院医学系研究科 教授(専門：老年医学、老年薬学)</p> <hr/> <p>薬と上手に付き合おう かぜの薬・胃の薬・腸の薬を中心に <b>神保 美紗子</b> スギ薬局DI室／名古屋市立大学大学院 薬学研究科 臨床准教授</p>	940名

※講師の所属・役職は講演当時

# フォーラム & シンポジウム

## 高齢者とくすりのフォーラム

～くすりとの正しい付き合い方をわかりやすくお話しします～



荒井 秀典 氏

溝神 文博 氏

多くの薬を服用することで副作用や飲み間違い、残薬などの薬に関する問題が起きる状態（ポリファーマシー）を中心に薬、健康食品、サプリメント等の適正使用への理解を深める講演会を開催いたしました。

**主催：**公益財団法人 杉浦記念財団

**後援：**愛知県、名古屋市、一般社団法人愛知県薬剤師会、社会福祉法人愛知県社会福祉協議会、公益社団法人愛知県看護協会

開催地	開催日	テーマ／講師	参加人数
愛知(名古屋市)	2019年 9月29日(日)	健康長寿のための正しいお薬の飲み方を考える <b>荒井 秀典 氏</b> 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 理事長	450名
		ポリファーマシーって知っていますか？ ～高齢者が気をつけたい多すぎるくすりと副作用～ <b>溝神 文博 氏</b> 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 薬剤部	

## 認知症医療介護推進フォーラム

認知症医療介護の動向を踏まえた多職種連携フォーラム（認知症予防・治療の知識や、認知症への理解を深めることに資する講演、討論等）を計6回開催しています。



**主催：**国立長寿医療研究センター認知症医療介護推進会議

**共催：**公益財団法人 杉浦記念財団

**後援：**厚生労働省、日本医師会、日本看護協会、日本歯科医師会、日本介護支援専門員協会、日本介護福祉士会、国立精神・神経医療研究センター、全国老人福祉施設協議会、全国老人保健施設協会、全日本病院協会、日本精神科病院協会、日本認知症学会、日本認知症グループホーム協会、日本認知症ケア学会、日本認知症本人ワーキンググループ、日本慢性期医療協会、日本薬剤師会、日本老年医学会、日本老年看護学会、日本老年精神医学会、認知症介護研究・研修センター、認知症の人と家族の会

開催地	開催日	タイトル
愛知(名古屋市)	2014年2月23日(日)	認知症でも地域で穏やかに暮らすために 1
東京(千代田区)	2015年2月22日(日)	認知症でも地域で穏やかに暮らすために 2
京都(京都市)	2016年2月21日(日)	時機に対応した認知症医療・介護への取り組み
愛知(名古屋市)	2017年2月19日(日)	認知症の人と社会のかかわり
東京(文京区)	2018年2月18日(日)	意欲をもって地域で暮らすために
大阪(大阪市)	2019年2月17日(日)	これからの認知症施策 ～本人、家族にとって、本当に必要なもの～

# 長生きを喜べるまちづくりシンポジウム

～愛知県地域再生・まちづくり研究会の活動の一環として2016年より実施～



開催地	開催日	テーマ／講師	参加人数
愛知(名古屋市)	2016年 5月20日(金)	第1回 長生きを喜べるまちづくりシンポジウム —未来の答えがここにある!— <b>増田 寛也氏</b> 日本創成会議 座長	640名
愛知(名古屋市)	2017年 9月22日(金)	第2回 長生きを喜べるまちづくりシンポジウム —真の高齢問題は40年後にくる— <b>石破 茂氏</b> 衆議院議員	880名
愛知(名古屋市)	2018年 9月21日(金)	第3回 長生きを喜べるまちづくりシンポジウム —高齢社会を生き抜く秘訣— <b>中村 秀一氏</b> 一般社団法人医療介護福祉政策研究フォーラム理事長	800名
愛知(名古屋市)	2019年 9月20日(金)	第4回 長生きを喜べるまちづくりシンポジウム 未来の生き方改革～2040年・2060年に向けて～ <b>岩瀬 仁紀氏</b> スポーツコメンテーター、元中日ドラゴンズ投手	830名
愛知(名古屋市)	2022年10月 2日(日)	第5回 長生きを喜べるまちづくりシンポジウム 人生100年時代 技術がかわる 社会がかわる 生き方がかわる <b>恩田千佐子氏</b> 中京テレビアナウンサー	500名

これまでの活動記録

## 第5回シンポジウムより



大島伸一 座長



中京テレビ 恩田千佐子アナウンサー  
(ゲスト講演)



杉浦伸哉 副理事長



## 長生きを喜べるまちづくりシンポジウム ポスター (第1～5回)



※QRコードから動画等もご覧いただけます。(講師の所属・役職は講演当時)

# これまでの主な活動年表

7月1日、公益認定「公益財団法人 杉浦記念財団」に改称

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
杉浦賞・杉浦助成		第1回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞4者 杉浦助成7者)	第2回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞3者 杉浦助成12者)	第3回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞3者 杉浦助成13者)	第4回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞5者 杉浦助成14者)	第5回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞5者 杉浦助成13者)	第6回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞4者 杉浦助成20者)	
研究会	<p>都市型の看護介護医療等連携研究会／第1期</p> <p>●4月～15年6月(33回開催) 第1期「都市型の看護介護医療等連携研究会」発足 テーマ：あるべき姿の議論～課題と問題点を中心に～</p>  				<p>第2期</p> <p>●8月～17年10月(13回開催) 第2期 テーマ：認知症の人がより良く生きていける社会の実現を目指す</p> 			
	<p>9月1日「一般財団法人杉浦地域医療振興財団」設立</p>				<p>愛知県地域再生・まちづくり研究会／第1期</p> <p>●4月～18年5月(32回開催) 「愛知県地域再生・まちづくり研究会」発足</p>  <p>●5月 第1回「長生きを喜べるまちづくりシンポジウム」 テーマ：未来の答えがここにある！</p> <p>●9月 第2回「長生きを喜べるまちづくりシンポジウム」 テーマ：真の高齢問題は40年後にくる</p>			
健康増進セミナー	<p>地域包括ケアにおける医薬品適正使用協働研究会</p> <p>●10月～23年12月(50回開催) 「地域包括ケアにおける医薬品適正使用協働研究会」発足</p> 				<p>健康寿命延伸と介護予防を</p> <p>●16年9月～19年12月(16回開催)</p> 			
	<p>健康増進セミナー</p> <p>●4月 第1回「健康増進セミナー」開催(兵庫県)</p> 				<p>●3月～(25回開催) 健康増進セミナー「ごきげんに年を重ねる秘訣」</p> 			
フォーラムその他	<p>●7月 市民公開講座「認知症セミナー」開催(名古屋)</p> <p>●10月 一般公開セミナー「超高齢社会における地域連携」開催(東京)</p> 				<p>●2月 認知症医療介護推進フォーラム「認知症でも地域で穏やかに暮らすために1」</p> <p>●2月 認知症医療介護推進フォーラム「認知症でも地域で穏やかに暮らすために2」</p>			
	<p>●2月 認知症医療介護推進フォーラム「時機に対応した認知症医療・介護への取り組み」</p>				<p>●3月～(5回開催) 「50代からの健康増進セミナー」</p> <p>●9月～ 「いつまでもハツラツと元気でしょう」</p>			

2018	2019	2020	2021	2022	2023
<p>第7回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞5者 杉浦助成19者)</p>	<p>第8回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞5者 杉浦助成24者)</p>	<p>第9回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞5者 杉浦助成20者)</p>	<p>第10回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞3者 杉浦助成16者)</p>	<p>第11回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞3者 杉浦助成15者)</p>	<p>第12回 杉浦地域医療 振興賞・振興助成 (杉浦賞3者 杉浦助成15者)</p>
<p>第3期</p> <p>●1月～19年3月(8回開催) 第3期 テーマ：常に進化し続ける地域包括ケアシステムの概念と実態</p>		<p>第4期</p> <p>●5月～23年11月(16回開催) 第4期 テーマ：地域包括ケアシステムの深化～生活支援を含む複合サービスが地域を支える～</p>			<p>第5期</p> <p>●1月～11月(6回開催) 第5期 テーマ：子どもと地域包括ケアシステム～子どもと高齢者のふれあい支援、医療的ケア児支援、障害児ケアと障害者ケア～</p>
<p>第2期</p> <p>●6月～23年12月(41回開催)</p>					
<p>●9月 第3回「長生きを喜べるまちづくりシンポジウム」 テーマ：高齢社会を生き抜く秘訣</p>	<p>●9月 第4回「長生きを喜べるまちづくりシンポジウム」 テーマ：未来の生き方改革</p>	<p>●10月 第5回「長生きを喜べるまちづくりシンポジウム」 テーマ：人生100年時代</p>			
<p>考える会</p> <p>「健康寿命延伸と介護予防を考える会」発足 サブテーマ：70代、80代を元気に乗り越える為に</p>					
<p>●4月～(8回開催) 「いつまでも元気で過ごそう」</p> 	<p>●4月～(3回開催) 「健康増進セミナー」</p>	<p>●8月～(3回開催) 「健康増進セミナー」 3密を回避・3元ネットワーク開催</p>	<p>●4月 「健康増進セミナー」</p> 	<p>●2月～(3回開催) 「健康増進セミナー」</p>	<p>●6月～(3回開催) 「健康増進セミナー」 京都など加え9元ネットワーク開催、1700人参加</p> 
<p>●2月 認知症医療介護推進フォーラム 「意欲をもって地域で暮らすために」</p>	<p>●2月 認知症医療介護推進フォーラム 「これからの認知症施策～本人、家族にとって、本当に必要なもの～」</p> <p>●9月 第1回「高齢者とくすりのフォーラム」開催</p>	<p>●3月 コロナ禍で医療施設など1100か所にマスク寄贈</p> 	<p>●4月 愛報証 110,000,000-</p> 	<p>●4月 日本赤十字社「ウクライナ人道危機救援金」に1000万円を寄付</p>	

# 当財団の活動は 皆様からのご寄附に支えられています

## ご寄附による支援のお願い

当財団は、2011年9月1日の設立以来、着実に公益事業活動の幅を広げ、2015年7月1日には内閣総理大臣より「公益財団法人」としての認定を受けました。今後もますます地域の皆様のお役に立つよう、まい進して参ります。つきましては、当財団の活動意義をご理解いただき、さらなるご支援をお寄せ下さいますよう、心よりお願い申し上げます。

◎当財団への寄附金は、特定公益増進法人への寄附金として税法上の優遇措置が受けられます。

## ご寄附のお申し込み方法

こちらのQRコードからご寄附をお申し込みいただけます。  
ご質問などの詳細事項は、下記までお気軽にお問い合わせ下さい。



[お問い合わせ]

**☎0562-45-2731** (受付時間 平日9:00～17:00)

FAX : 0562-45-2732

E-mail : info@sugi-zaidan.jp

[所在地]

〒474-0011 愛知県大府市横根町新江62番地の1

お問い合わせの内容、お時間によっては、翌日以降のご回答となる場合がございますので、ご了承下さい。

詳しくはHPをご覧ください。

杉浦記念財団

検索



こちらからもHPへ  
アクセスいただけます。